

# 目指そう男女が ともども歩むまちづくり

## 男女共同参画都市宣言記念講演会

今の世の中、男女平等じゃないの？  
〜無自覚なジェンダー・バイアスに気づくために〜



富永 明子さん

臨床心理士、公認心理師、フェミニストカウンセラーであり西日本短期大学保育学科長の富永明子さんを講師に招き、男女共同参画都市宣言記念講演会を9月28日に行いました。今回の参加者は32人。残念ながら男性の参加が少なく、多くが50代以上の女性でした。

講演テーマの「ジェンダー・バイアス」とは、男女の役割について、無意識に固定的な観念を持つこと、社会的・文化的に差別や偏見があることです。

私たちは「ふつうは〇〇」という言い方を日常的に使います。それが、無意識に周りの人を傷つけていることもあることに気付かされました。

参加者からは「これから勉強していこう」「生活の中で実践するきっかけになった」などの感想をいただき、参加者それぞれが気付きのヒントを得られた講演会になりました。

市は、このような講演活動などとおして、誰にとっても生きやすいこれからの時代を創るために、今後も啓発を続けていきます。

## 推進モデル

### いつかは福津市産ワインを！

本郷さんは、大分県の「久住ワイナリー」で約3年間、ワインについて修行し、令和3年から福津市本木でワイン用ブドウの栽培を行っています。

ワインが好きで、自分で一から作ってみようと決意したことが就農のきっかけという本郷さん。生まれ育った福津市で、休耕地を借り土作りから始めました。

時には、猟友会のメンバーと害獣駆除、時には、一人で重い物を運び、草刈り機などの機械のメンテナンスも行います。このような頑張りを取り組む人たちが認めてくれた結果、どうしてもできない作業のときなどは「お互い様」の精神で知り合いが力を貸してくれました。

女性が一人で一から就農するのは簡単ではありません。それでも本郷さんは「農業はクオクヨしない自分に合っている」と考えているそうです。農作業中のトイレなどの女性特有の悩みはありますが、ワインを醸造しジビエと福津市産の野菜でレストランを経営したい



本郷 由起さん



▲草刈りをする本郷さん

という夢の実現のため、今後も努力を続けていくそうです。

このように、性別に関係なく自由に生き方を選択し能力を発揮していこうとする姿は、市の「男女がともに歩むまちづくり」や男女共同参画社会の形成に貢献されていると判断されるため、今年度の男女が歩むまちづくり推進モデルに推奨します。

市では「福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例」に基づき、家庭や地域などで男女がともに歩むまちづくりを進めている市民や団体を推進モデルとして推奨しています。今年度の男女がともに歩むまちづくりへ向けた取り組みや推進モデルを紹介します。



▲「男女がともに歩むまちづくり・ふくつ」のシンボルマーク

### 令和6年度 「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

市内の小・中・高校生に、男女が歩むまちづくりへの思いを一行詩で表現してもらいました。

#### 【小学生の部】

列々の道ではなく共に歩く一本の道

《勝浦小学校5年 阿部 明来さん》

好きに生きよう、自分と、ともに

《上西郷小学校5年 白川 波さん》

人生は 自分の たからもの

《神興小学校4年 桑野 羽菜さん》

わたしだって かつこよくなりたい！

《神興東小学校6年 魚住 唯菜さん》

男だろうが、女だろうが関係なくない？だって大切なのは「自分らしさ」だから。

《津屋崎小学校5年 青山 泰志さん》

男と女は関係ない やりたいことは自分しだい、

《福岡小学校4年 三浦 煌平さん》

男だったらな女だったらな。「いいや」今のあなたが、すばらしい。

《福岡南小学校5年 川端 菜々恵さん》

#### 【中学生の部】

男女のボーダー取っ払い「あなた」の力が未来に輝く

《津屋崎中学校3年 上表 花音さん》

「育休をとります」は女性だけのセリフではありません

《津屋崎中学校3年 村上 舞衣さん》

将来の夢 女子だからといって 諦めない、好きな職業で働く 未来の自分に

《福岡中学校3年 高橋 みちるさん》

「あなた」はあなた 「じぶん」はたくさん

《福岡中学校3年 藤井 宇宙さん》

家事苦手？ 俺がするよ得意だし

《福岡東中学校3年 向笠 文菜さん》

性別を見る社会から 個性を見る社会へ

《福岡東中学校2年 河口 颯介さん》

#### 【高校生の部】

手を取り合い 違う色で描く 未来地図

《光陵高校1年 上田 真門さん》

変わってる？ 自分の個性 唯一無二

《光陵高校1年 米満 柁さん》

咲かせてよ 1つの人生 個々の色

《光陵高校1年 立山 輝一さん》

“手伝う”ではなく 一緒にやろう家事育児

《水産高校1年 岡崎 心南さん》

「男らしさ」「女らしさ」よりも自分らしさの方が一番大切

《水産高校1年 玉井 悠嗣さん》

区別より 個性を出して 作る社会

《水産高校1年 小島 奏芽さん》